

◆ 国土交通省 土木工事共通仕様書平成27年版では、養生に関する記述がより具体的になりました。

平成25年度版

第1編 共通編 第3章 無筋・鉄筋コンクリート

1-3-6-9 養生

1. 一般事項

受注者はコンクリートの打込み後の一定期間を、硬化に必要な温度及び湿度条件を保ち、有害な作用の影響を受けないように、養生しなければならない。

2. 湿潤状態の保持

受注者は、コンクリートの露出面を養生マット、濡らした布等で、これを覆うか、または散水、湛水を行い、少なくとも表1-3-3の期間、常に湿潤状態を保たなければならない。

平成27年度版

第1編 共通編 第3章 無筋・鉄筋コンクリート

1-3-6-9 養生

1. 一般事項

受注者はコンクリートの打込み後の一定期間を、硬化に必要な温度および湿潤状態に保ち、有害な作用の影響を受けないように、養生しなければならない。

2. 湿潤状態の保持

受注者は、コンクリートの表面を荒らさないで作業できる程度に硬化した後に、露出面を一定期間、十分な湿潤状態に保たなければならない。養生方法の選定にあたっては、その効果を確認、適切に湿潤養生期間を定めなければならない。ただし、通常のコンクリート工事におけるコンクリートの湿潤養生期間は、表1-3-3を標準とする。

表1-3-3 コンクリートの標準養生期間

日平均気温	普通ポルトランドセメント	混合セメント	早強ポルトランドセメント
15℃以上	5日	7日	3日
10℃以上	7日	9日	4日
5℃以上	9日	12日	5日

改定の要点

- ① 湿潤養生とは養生水がコンクリート表面を覆っていること
- ② 養生開始はできるだけ早い時期に行う。
- ③ 効果が確かめられた養生方法を選定する。
- ④ 部位ごとの養生方法、養生期間を施工計画に明示し、その履行を確認する必要がある。

共通仕様書では、型枠を用いない露出面を対象としていますが、土木学会標準示方書では、型枠を取り外した面にも給水養生が好ましいとしています。

露出面の湿潤養生にはアクアカーテンの妹、アクアシートをご利用ください

アクアシートに関しては、アクアカーテン普及会のホームページ<http://www.aqua-curtain.jp> AC News No.20で紹介しています。